

## 四国各県での事例紹介

他県での農林漁家民宿経営の実態は、その県の推進体制や状況などにより状況が異なります。

ただ、「おもてなし」の面においては大きなヒントが得られるはずです。

ここでは、四国各県において、皆様のヒントとなるような事例を紹介いたします。

### 【今回取り上げさせていただいた宿】

リゾートマンションを体験型交流施設として運営 ホテル『セカンドステージ』  
(香川県高松市)

廃校を利用した農村体験のできる宿 『ふれあいの里 さかもと』(徳島県勝浦町)

四万十川中下流域での空き民家の一軒貸し『百々世庵』(高知県四万十市)

グループで経営する農家民宿『かまや』(高知県梶原町)

## リゾートマンションを体験型交流施設として運営 ホテル『セカンドステージ』 (香川県高松市)

ホテル『セカンドステージ』は、バブル最盛期に建設され倒産していたマンションを地元、高松市塩江町の特定非営利活動法人「しおのえ」が購入したものです。購入当時はスライダー付のプールも敷地内にあるリゾート施設でしたが、ホテル業の経験のないスタッフ達での運営を考えた際に、地域の資源を活かした体験メニューの提供、地域の食材を使った食事、スタッフの笑顔のおもてなしを「売り」にしようという計画を立てました。

プールを撤去し、野菜の収穫体験ができる畑の造成をしたり、近くの農家から山菜の採れる山地を借りて環境整備に努めています。ただし、計画ばかりでまだ成果のでない体験もあります。また、少人数で運営しているので、行き届かない点もあります。そんな時は地域の皆さんに助けをいただいています。うどん打ちや製茶体験、わら細工、竹細工など地域の皆さんに講師としてお手伝いいただき、お客さまにも満足していただき、地域のおじいちゃんやおばあちゃんにも喜んでいただいています。

「これからも、お客様も、スタッフもみんな笑顔で過ごせるような『おもてなし』を心がけてゆきたいと思います。」



地域の食材を使った里山会席



うどん打ちマスター「うどん打ち部会」のみなさん



春の桜に包まれるセカンドステージ



「うどん打ち体験」で打ちたてのさぬきうどんが頂けます